

アスカカンパニーの企業理念と教育について

アスカカンパニー株式会社の企業理念は、「人々が成長し、社会に貢献できる場の提供」でございます。
この企業理念を実践している一つのかたちとして、改善活動MK活動がでございます。
これまでのアスカマーケットニュースでもその様子や概要をご紹介して参りました。
弊社の全社員が参加するMK活動はこれまで40年以上に渡って、アスカの全社員の成長の場となっています。
特に、グループのリーダーは、半年間の活動の中で数回の「リーダー教育」という講習を受け、それぞれの課題に対しての調査の方法や、QC的な考え方を学びます。
そして、半年後には一回りも二回りも成長することができます。
グループのリーダーは若手社員からベテランまで社歴・年齢に関係なく任命されるので、MK活動はアスカカンパニーの社員全員に平等に与えられた成長のチャンスなのです。



「人々が成長し、社会に貢献できる場の提供」は社内外を問いません。
アスカカンパニーの社外の皆様方に向けてカメラ検査の導入の足掛かりとなるためのカメラスクールや外部セミナーもそんな企業理念のもとで始まり、これまでに累計72社・113名の方に受講頂いております。



弊社が培ってきた生産性向上のためのカメラ検査やIoTの技術をさらに高めていくのはもちろんですが、このようなスクールやセミナーを通じて、これからもプラスチック産業の生産性の向上につながる場を提供して参ります。

近年、よく取り上げられている「働き方改革」によって、個人の余暇時間がこれまでより増えるといわれています。その時間を自己啓発や自己研鑽に割くことで、個人として、更に大きく成長できます。

そんな折、私たち社員にこんな冊子が配られました。

アスカカンパニーとして教育にこれまで以上に力を入れるべく、11月から始まった新しい取り組みのひとつです。
案内の見開きは弊社の長沼社長と経営企画室の門脇取締役からのメッセージから始まり、コースの内容はものづくりからマネジメントスキル、IT、経営や財務・会計まで100以上の講座が開講されており、各部署の社員がどの講座を受講すればいいかが分かるように体系化されています。

通常は、受講料の半額は個人負担となっておりますが、今回は社員に通信教育の受講を促すために、受講料は全額会社負担です。その結果、112人・延べ130コースの受講申込がありました。
筆者もこれを機に講座の申し込みを行い、資格の取得に向けて学習をスタートさせました。

人が成長することなく会社や社会が成長することはあり得ません。従業員一人一人の成長の歩みと共に会社が成長し社会に貢献する。そんな考え方がアスカカンパニーの企業理念です。

